



# 曾谷の風

学校教育目標「『ゆめ あすから』チャレンジする子どもたち」

市川市立曾谷小学校  
校長 田部井 伸郎

[→爽風学園ブログはこちら](#)

[→学校ホームページはこちら](#)

曾谷っ子の合言葉 「元気・本気・勇気」～3つのキを育てよう～



## 引き渡し訓練

2日(月)の「引き渡し訓練」は、ご多用のところ、たくさんの保護者の皆様にご参加いただきありがとうございました。

学校長の話で、「世界で一番地震の多い国はどこか」を4択クイズで出題しました。答えが日本だというのは、子どもたちにとって意外だったようです。

しかし引き渡しは地震以外にも、気象における各種警報、警戒レベル4以上が発令された際にも行われます。「[非常変災時の学校の対応](#)」をご参照ください。



## 「曾谷小応援隊」(学校支援ボランティア)

**机・椅子調整ボランティア** 10日(火)に学校支援ボランティア(以下「曾谷小応援隊」)をお願いしました。内容は、「机・椅子の調整」ボランティアです。

この机・椅子とは教室で子どもたちが使っている机・椅子です。成長期にある子どもたちが使う机・椅子は、成長に合わせて高さの調整が可能です。身長への対応基準がありますが、養護教諭の森実先生がその基準の数値を出してくれました(例 103~116cmは10号、145~158cmは4号など)。



要調整の子は多いですが、学年が小さいと力が足りず、また危険を伴いますし、担任がクラス分の調整を行うのは、数が多すぎます。

そこで「曾谷小応援隊」をお願いしました。たくさんの方に手を挙げていただき、全員で10人、現役保護者の方にも2名ご参加いただきました。

子どもは学校で過ごす多くの時間を、教室の机・椅子で過ごします。相応しい高さは、姿勢を保つこと、視力を低下させないこと、集中力を維持すること等は、よりよく学習することにつながり、学力の定着・向上に寄与します。子どもたちにとってかなり大事なことです。本当に助かりました。ご協力いただいた皆様ありがとうございました。

**手縫いボランティア** 12日(木)にお手伝いいただいた内容は、「[手縫い](#)」ボランティアです。これはご存じの通り、5年生から家庭科の学習が始まりますが、子どもたちは針と糸で縫うのは、ほとんどの子が初めてです。

最初の段階、針に糸を通すのも一苦労、玉結びも玉止めはさらに一苦労、針を

扱うので安全面にも気を抜けないなど、なかなか大変です。個人指導が必要となりますが、担任が1人で対応するには人数が多すぎます。

そこで、以前6月の学校だよりでお伝えした「スマイルカフェ」に参加されている方をお願いしました。この日は、地域学校協働活動推進員の石橋さん・花田さんを含め、5年1組には4人、5年2組には5人ご参加いただきました。



手縫いの技術はさすがですし、ほぼマンツーマンで順番にみっちり指導していただきました。本来であれば、苦勞している子は担任の個人指導を受けるために行列になってしまうところ、ボランティアの皆様のところでも指導していただけるので、待ち時間も少なくなることで、活動時間を確保することができました。

お帰りの際、「子どもたちと裁縫できて本当に楽しかった!」と仰っていただいたのが何よりです。子どもたち・教職員の学校側だけが恩恵を受けるのではなく、お手伝いいただくボランティアの皆さんにも喜んでいただける双方向のつながりができていることが何よりです。

1回だけでは裁縫はなかなか定着しないので、ご協力により来週以降もお手伝いいただけることになっています。よろしくお願いいたします。

#### 4年生 少人数学習(算数)

4年生の算数の学習は、複数桁の割り算の学習に取り組んでいます。この学習は今後を考えたくえでも非常に重要な単元です。

そこで4年生では、担任2名に、少人数指導担当の西野先生と教務主任の金子先生を加え、4名体制の少人数学習で算数の授業を行っています。



学年を4クラスに分けることで、平均約15名という少人数となります。少人数学習のメリットとして、「きめ細やかな学習」が可能となる、ということです。

普段の人数の約半分なので、児童と教員が接する時間が多く確保できるため、児童一人ひとりの習得状況を把握しやすくなります。児童にとっても、人数が少ないので、質問しやすい状況です。そのほか、児童それぞれのニーズに合わせた学習が可能となります。

その結果、よくできるようになり、学力の向上が期待できます。クラスや教員の予定を合わせたり、打ち合わせを密にしたりするので、毎単元で実施することは難しいのですが、他の学年でもこそぞという単元で実施していきたいです。

#### お知らせ欄

○子どもと親のサポートセンター（県教育委員会）から、[不登校支援の周知依頼](#)がありました。

○千葉県肢体不自由児協会から、[募金の周知依頼](#)がありました。ご賛同の方は、10月1日（火）までに、担任へご提出をお願いいたします。